# 平成22年度 財政状況資料集

## 総括表(市町村)

								** 中田 # 学	の指定状況	区分	平成22年度(千円)	平成21年度(千円)	区分	平成22年度(千円・%	) 平成21年度(千円·%
	都道府県名	長	野県	市町	村類型	-	. 0		の指定状況	歳入総額	5,329,482		実質収支比率	1.9	2.6
								財政健全化等	×	歳出総額	5,182,389		経常収支比率	74.2	82.1
			11.4.1		/ 1 TM TM 10.	_	_	財源超過	×	歳入歳出差引	147,093	129,280	( 1)	(80.6	( 88.5
	市町村名	筑	北村	地万父	付税種地	2-	-2	首都 近畿	×	翌年度に繰越すべき財源 実質収支	80,362 66,731	41,981	標準財政規模 財政力指数	3,453,636 0.19	3,304,553 0.20
		22年国調(人)	5,172	+				中部	×		-20,568		公債費負担比率	21.0	19.8
	人口		5,702			産業構造		過疎			233,382		<u>公頃買見担比率</u> 健全化判断比率	21.0	19.0
	ΛU	17年国調(人)		_	- //						· ·				
		増減率 (%)		Ľ	☑分	17年国調		山振		繰上償還金	155,892	13,019	実質赤字比率		-
		23.03.31(人)		筆	1次	748		低開発	×	積立金取崩し額	-	92,000	連結実質赤字比率		-
住	民基本台帳人口	22.03.31(人)	5,457	N <sub>2</sub>	11//	23.5	21.2	指数表選定		実質単年度収支	368,706	138,468	実質公債費比率	16.7	19.4
		増減率 (%)	-1.9	**	2次	885	1,111			基準財政収入額	450,863	479,139	将来負担比率	22.9	54.2
	面積 (km²)		99.50	**	12//	27.8	32.9			基準財政需要額	2,526,020	2,489,854	資金不足比率 (3)		
人[	コ密度 (人/k㎡)		52		- O.V	1,548	1,546			標準税収入額等	556,548	593,889			
t	世帯数 (世帯)		1,839	弗	3次	48.6	45.7				2,558,659	2,710,984			
		•	•	職員	員の状況					歳入一般財源等	4,205,604	4,250,217			
			1人あたり平均	1			職員数	給料月額	1人あたり平均	-	,,	,,			
	区分	定数	給料月額(百円)			区分	(人)	(百円)		地方債現在高	4,940,514	5,179,232	1		
	市区町村長	1	5,480	_	一般職員		97	303,804	3,132		3,615,996	4,076,790			
特	副市区町村長	1	5,230	- An		的職員	-		0,102	- 債務負担行為額(支出予定額)	169,599	222,502			
別	収入役		3,230	- 月又 日本		技能労務職員		20,968	2,621	収益事業収入	100,000	222,302			
職	教育長	1	4,981		教育公務		0	20,300	2,021		-				
等		<u> </u>		- <del>~</del>			-	-			4 070 000	4 400 007	-		
	議会議長	1	2,590	- ~	臨時職員	Į		-		- 精立金    積立金	1,370,269	1,136,887			
	議会副議長	1	1,840	4	台計		97	303,804	3,132	■ 現在高 <sup>                                     </sup>	411,476	305,220			
	議会議員	10	1,640		ラスパイ	「レス指数			93.6	その他特定目的基金	191,540	168,400			
一般	会計等の一覧		事業	会計の一	- 覧			公営企業(法適	)の一覧	公営企業(法非適)の・	一覧	関係する一部事務	组合等一覧 地	也方公社・第三セクター等一覧	
頂番	:	会計名	頂番	ŧ		会計名		頂番	会計名	頂番	会計名	頂番	組合等名 頂	百番 団体名	(2)

一般会計等の一覧 項番 会計名	事業会計の一覧 項番 会計名	公営企業(法適)の一覧 項番 会計名
(1) 一般会計	(3) 筑北村国民健康保険特別会計	
(2) 筑北村バス事業特別会計	(4) 筑北村国民健康保険診療所特別会計	
	(5) 筑北村老人保健特別会計	
	(6) 筑北村介護保険特別会計	
	(7) 筑北村後期高齢者医療特別会計	

公営: 項番	企業(法非適)の一覧 会計名
(8)	筑北村簡易水道事業特別会計
(0)	<b>给业村集落排水事業特別会計</b>

(16) 安曇野松筑広域環境施設組合 (9) 筑北村集落排水事業特別会計 (10) 筑北村合併浄化槽事業特別会計

(11) 筑北村とくら温泉施設特別会計

(12) 筑北村差切峡温泉施設特別会計

(13) 筑北村冠着温泉施設特別会計 (14) 筑北村宅地造成事業特別会計

(15) 松本広域連合 (30) (財)筑北村開発公社

(17) 穂高広域施設組合

(18) 松塩安筑老人福祉施設組合

(19) 麻績村筑北村学校組合

(20) 東筑摩郡筑北保健衛生施設組合

(21) 松塩筑木曽老人福祉施設組合

(22) 長野県後期高齢者医療広域連合(一般会計)

(23) 長野県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療 事業会計)

(24) 東筑摩郡行政事務組合

(25) 中信地域町村交通災害共済事務組合

(26) 長野県市町村総合事務組合(一般会計)

(27) 長野県市町村総合事務組合(非常勤職員公務災害補償特別会計)

(28) 長野県市町村自治振興組合

(29) 長野県地方税滞納整理機構

(注釈)

1:経常収支比率の()内の数値は、「減収補塡債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。 2:地方公共団体が損失補塡等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に 印を付与している。

3: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。

# (1) 普通会計の状況(市町村)

下の		状況(単位 千円	•%)			地方税の状況(単位 千円・%)						
地方領与人会 2、238 0.0 2、238 0.1 法定普通税 408,198 99.2 872 872 872 873 872 873 874 873 874 874 875 875 875 875 875 875 875 875 875 875		決算額	構成比	経常一般財源等				収入済額	構成比	超過課	<b>R税分</b>	
和子副交付金		411,586	7.7	411,586	13.0			408,198			872	
配当副交付金	地方譲与税	66,374	1.2	66,374	2.1	法定普通税		408,198	99.2		872	
配当副交付金	利子割交付金	2,238	0.0	2,238	0.1	市町村民税		171,693	41.7		872	
地方消費税交付金	配当割交付金	565	0.0	565	0.0	個人均等割		7,512	1.8		-	
地方消費報交付金 14,682 0.3 14,682 0.5	株式等譲渡所得割交付金	208	0.0	208	0.0	所得割		152,316	37.0		-	
特別地方消費税交付金 自動車取得稅交付金 地方特例交付金 地面手型及び子ども手当特例交付金 地方交付稅 地方交付稅 とのは、2485、999 ののものののもののもののもののもののもののものものものものものものものものも		43,541	0.8	43,541	1.4	法人均等割		6,463	1.6		-	
自動車取得税交付金	ゴルフ場利用税交付金	· -	-	-	-	法人税割		5,402	1.3		872	
軽油引取税交付金 地方特例交付金 の名	特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税		204,811	49.8		-	
地方特例交付金	自動車取得税交付金	14,682	0.3	14,682	0.5	うち純固定資産	<b></b>	204,811	49.8		-	
児童手当及び子ども手当特例交付金   地方交付税	軽油引取税交付金	· -	-	-	-	軽自動車税		14,907	3.6		-	
児童手当及び子ども手当特例交付金   減収補填特例交付金   地方交付税	地方特例交付金	11,952	0.2	11,952	0.4	市町村たばこ税		16,787	4.1		-	
地方交付税	児童手当及び子ども手当特例交付金	6,273	0.1	6,273	0.2			· -	-		-	
地方交付税	減収補塡特例交付金	5,679	0.1	5,679	0.2	特別土地保有税		-	-		-	
特別交付税	地方交付税	2,825,909	53.0	2,621,661	82.6	法定外普通税		-	-		-	
(一般財源計) 交通安全対策特別交付金 分担金・負担金 使用料     3,377,055 906     63.4 0.0 906     3,172,807 99.9 99.9 0.0 105,227 2.0 13,648 0.3 国市支出金 国有提供交付金(特別区財調交付金)     99.9 0.6 15,227 2.0 13,648 0.3 344,507 66.5 8耐金 77,435 8耐金 8分金 156,282 2.9 2.4 2.4 2.9 2.4 2.4 2.9 2.4 2.4 2.9 2.4 2.9 2.4 2.4 2.9 2.4 2.4 2.9 2.4 2.4 2.9 2.4 2.4 2.9 2.4 2.4 2.9 2.4 2.4 2.9 2.9 2.4 2.4 2.9 2.4 2.9 2.4 2.9 2.4 2.9 2.4 2.9 2.4 2.9 2.4 2.9 2.4 2.9 2.4 2.9 2.4 2.9 2.9 2.4 2.9 2.4 2.9 2.9 2.4 2.9 2.9 2.4 2.9 2.9 2.4 2.9 2.9 2.4 2.9 2.4 2.9 2.9 2.4 2.9 2.9 2.4 2.9 2.9 2.4 2.9 2.9 2.4 2.9 2.9 2.4 2.9 2.9 2.4 2.9 2.9 2.4 2.9 2.9 2.4 2.9 2.9 2.4 2.9 2.9 2.4 2.9 2.9 2.4 2.9 2.9 2.4 2.9 2.9 2.4 2.9 2.9 2.4 2.9 2.9 2.4 2.9 2.9 2.4 2.9 2.9 2.4 2.9 2.9 2.9 2.4 2.9 2.9 2.9 2.4 2.9 2.9 2.9 2.9 2.4 2.9 2.9 2.9 2.4 2.9 2.9 2.4 2.9 2.9 2.4 2.9 2.9 2.4 2.9 2.9 2.9 2.4 2.9 2.9 2.9 2.4 2.9 2.9 2.9 2.9 2.9 2.9 2.9 2.9 2.9 2.9	普通交付税	2,621,661	49.2	2,621,661	82.6	目的税		3,388	0.8		-	
交通安全対策特別交付金 分担金・負担金 使用料         906 41,634 105,227 13,648 442,003 国庫支出金 国有提供交付金(特別区財調交付金)         0.0 41,634 0.3 442,003 8.3 8.3 91 8.3 91 8.3 91 91 91 91 91 91 91 91 91 91 91 91 91	特別交付税	204,248	3.8	-	-	法定目的税		3,388	0.8		-	
交通安全対策特別交付金 分担金・負担金 使用料 (使用料 105,227 部道府県支出金 部道府県支出金 新達収入 寄附金 名44,507 7,435 32,290 6.5 寄附金 434,507 7,435 815,282 2.9 421 432 432 442,003 813 813 813 813 813 813 813 81	(一般財源計)	3,377,055	63.4	3,172,807	99.9	入湯税		3,388	0.8		-	
分担金・負担金		906	0.0	906	0.0	事業所税		· -	-		-	
手数料	分担金・負担金	41,634	0.8	-	-			-	-		-	
手数料	使用料	105,227	2.0	1,168	0.0	水利地益税等		-	-		-	
国庫支出金	手数料	13,648	0.3	-	-	法定外目的税		-	-		-	
国有提供交付金(特別区財調交付金)   344,507   344,507   6.5   6.5   7,435   0.1   5872   180,00   1872   18	国庫支出金	442,003	8.3	-	-	旧法による税		-	-		-	
財産収入 7,435 0.1 32,290 0.6 32,290 1.66 2.9 4.8 4.4 4.3	国有提供交付金(特別区財調交付金)	· -	-	-	-	合計		411,586	100.0		872	
寄附金	都道府県支出金	344,507	6.5	-	-			平成22年度		平成215	年度	
33,290   0.6   -   -		7,435	0.1	-	-	☆ □ 合計	•	99.1	97.4	99.1	97.8	
探入金	寄附金	32,290	0.6	-	-		「村民税	99.2	97.0	98.7	97.3	
諸収入 77,188 1.4 329 0.0 位計 200	繰入金	156,282	2.9	-	-	(%) 生 純固	定資産税	98.9	97.5	99.3	98.2	
地方債 うち減収補塡債(特例分) うち臨時財政対策債 協入合計 5,329,482 100.0 3,175,210 100.0 3,175,210 100.0 6計 626,981 実質収支 58,450 180,134 再差引収支 108,872 加入世帯数(世帯) 913 観光施設 61,098 被保険者数(人) 1,591	繰越金	129,280	2.4	-	-							
うち減収補塡債(特例分) うち臨時財政対策債 275,427 5.2 日間 180,134 再差引収支 52,450 108,872 加入世帯数(世帯) 913 額入合計 5,329,482 100.0 3,175,210 100.0 報光施設 超光施設 61,098 被保険者数(人) 1,591	諸収入	77,188	1.4	329	0.0	公営事業等/	∖の繰出	国民健康	<b>長保険事業</b>	会計の状況	₹	
うち臨時財政対策債   275,427   5.2   -   -     簡易水道   108,872   加入世帯数(世帯) 913   歳入合計 5,329,482   100.0   3,175,210   100.0   観光施設 61,098   被保険者数(人) 1,591	地方債	602,027	11.3	-	-	合計		実質収支			58,450	
うち臨時財政対策債   275,427   5.2   -   -     簡易水道   108,872   加入世帯数(世帯) 913   歳入合計 5,329,482   100.0   3,175,210   100.0   観光施設 61,098   被保険者数(人) 1,591	うち減収補塡債(特例分)	-	-	-	-	下水道	180,134	再差引収支			52,450	
歳入合計  5,329,482   100.0   3,175,210   100.0     観光施設  61,098   被保険者数(人) 1,591	うち臨時財政対策債	275,427	5.2	-	-	簡易水道	108,872	加入世帯数(世帯	)	1	913	
	歳入合計	5,329,482	100.0	3,175,210	100.0	観光施設	61,098			1	1,591	

公営事業等/	への繰出	国民健康保険事業会計の状況					
合計	626,981	実質収支	58,450				
下水道	180,134	再差引収支	52,450				
簡易水道	108,872	加入世帯数(世帯)	913				
観光施設	61,098	被保険者数(人)	1,591				
宅地造成	16,491	<b>神口吟</b> (保険税(料)収入額	82				
国民健康保険	65,736	被保険者   国庫支出金   1人当り   日際公分書	78				
その他	194,650	「ヘヨリ し保険給付費	293				

(注釈) 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

		مانط	-11\n	/A TE ()			
4				<u>単位 千円・%)</u> (単位 千円・%)			
-	区分	目的別歳は	横成比	(単位 十円・%)   (A)のうち普通過		ハハのミナカ	小 机叶流体
	議会費	決算額 (A)		(A)のつら音通過	E 改争 業 員	(A)のうち狂	
		52,877	1.0				52,877
	総務費	1,367,848	26.4		294,119		1,090,949
	民生費	831,032	16.0		8,677		518,979
	衛生費	504,017	9.7		-		493,765
	労働費 農林水産業費	445 040	0.0				212.445
		445,618	8.6		231,737		
	商工費	71,793	1.4		2,480		70,771
	土木費	313,400	6.0		214,696		168,599
	消防費	142,647	2.8		11,581		131,199
	教育費	395,596	7.6		76,424		361,142
	災害復旧費	146,820	2.8		-		73,254
	公債費	910,741	17.6		-		884,531
	諸支出費	-	-		-		-
	前年度繰上充用金 歳出合計	E 400 200	100.0		839,714		4 050 511
	成山口司	5,182,389		(単位 千円・%)	039,714		4,058,511
	区分		構成比	充当一般財源等	<i>)</i> 奴骨奴毒女	当一般財源等	経常収支比率
	義務的経費計	2,008,416	38.8	1,739,965	胜市胜复儿	1,569,129	45.5
	人件費	807,305	15.6	749,616		747,754	21.7
	うち職員給	510,076	9.8	461,666		747,734	21.7
	扶助費	290,370	5.6	105,818		92,736	2.7
	公債費	910,741	17.6	884,531		728,639	21.1
l	内 元利償還金	910,741	17.6	884,531		728,639	21.1
l	訳一時借入金利子	-		-		720,000	
	その他の経費	2,187,439	42.2	1,897,672		989,530	28.7
	物件費	639,598	12.3	423,910		311,363	9.0
	維持補修費	47,978	0.9	42,123		32,513	0.9
1	補助費等	353,912	6.8	321,466		236,624	6.9
1	うち一部事務組合負担金	188,338	3.6	188,273		162,120	4.7
	繰出金	626,981	12.1	594,781		409,030	11.9
	積立金	518,970	10.0	515,392		-	-
	投資・出資金・貸付金	-	-	-		-	_
	前年度繰上充用金	-	-	-			
	投資的経費計	986,534	19.0	420,874			
	うち人件費	18,484	0.4	18,484			
4	普通建設事業費	839,714	16.2	347,620			
	内うち補助	492,912	9.5	34,328			
	記   つら単独	341,366	6.6	307,856			
	び 災害復旧事業費 失業対策事業費	146,820	2.8	73,254			
	大耒刈泉争耒貝 歳出合計	5,182,389	100.0	4,058,511			

### (2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率(市町村)

- 般会計等の財政状況(単位:百万円)							
会計名	歳入	裁出	形式収支	実質収支	他会計等からの 繰入金	地方債 現在高	備考
1 一般会計	5,326	5,179	147	66	156	4,941	
2 筑北村バス事業特別会計	23	22	1	1	19	-	
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
1 _ m ^ H =	5 320	5 182	147	67		4 941	

<b>~*~*</b>	A +1 **	<b>₩</b> 84 35 44	20 7	144 JA	. 75	- m	`

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剩余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの 繰入金	企業債(地方 債)現在高	左のうち 一般会計等 繰入見込額	資金不足比率	備考	
1 筑北村国民健康保険特別会計	748	690	58	58	43	-	-			]
2 筑北村国民健康保険診療所特別会計	69	67	2	2	16	4	1			
3 筑北村老人保健特別会計	0	0	0	0	0	-	-	-		
4 筑北村介護保険特別会計	634	611	23	23	89	-	-			
5 筑北村後期高齢者医療特別会計	59	59	0	0	21	-	-	-		
6 筑北村簡易水道事業特別会計	436	415	21	4	109	1,496	956	-	法非適用企業	
7 筑北村集落排水事業特別会計	205	205	1	1	144	1,341	1,205	-	法非適用企業	
8 筑北村合併浄化槽事業特別会計	63	63	1	1	36	410	333	-	法非適用企業	
9 筑北村とくら温泉施設特別会計	140	137	4	0	22	-			法非適用企業	
10 筑北村差切峡温泉施設特別会計	73	67	6	1	24	-	-		法非適用企業	
11 筑北村冠着温泉施設特別会計	106	104	2	2	15	-	-		法非適用企業	
12 筑北村宅地造成事業特別会計	17	16	0	-	16	35	4		法非適用企業	
13										
14										
15										
16										
17		ļ		ļ						
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										
35										
36										
37										1
38										
39										1
40										1
41										
42										
43										
44										
45										
46										
47				ļ						
48										
49										
50										_
51										連結
計 公営企業会計等				92		3,285	2,499	-		

## 関係する一部事務組合等の財政状況(単位:百万円)

	一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剩余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの 繰入金	企業債(地方 債) 現在高	左のうち 一般会計等 負担見込額	備考
1	松本広域連合	4,483	4,275	208	198	-	842	69	
2	安曇野松筑広域環境施設組合	259	249	10	10	50	499	23	
3	總高広域施設組合	1,338	1,285	53	48	-	167	4	
4	松塩安筑老人福祉施設組合	357	322	35	35	-	747	26	
5	麻蟆村筑北村学校組合	69	65	4	4	-	6	2	
6	東筑摩郡筑北保健衛生施設組合	70	63	7	7	-	0	0	
7	松塩筑木曽老人福祉施設組合	4,700	4,631	69	69	124	-	-	
	長野県後期高齢者医療広域連合(一般会計)	1,841	1,754	86	86	3	-	-	
9	長野県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療事業会計)	232,747	228,110	4,637	4,637	3,065	-	-	
10	東筑摩郡行政事務組合	27	26	1	1	-	-	-	
11	中信地域町村交通災害共済事務組合	49	38	11	5	-	-	-	
	長野県市町村総合事務組合(一般会計)	9,681	9,633	48	48	3,086	-	-	
13	長野県市町村総合事務組合(非常勤職員公務災害補價特別 会計)	15	14	1	1	8	-	-	
14	長野県市町村自治振興組合	183	179	4	4	-	-	-	
15	長野県地方税滞納整理機構	3	3	0	0	-	-	-	
16									
17									
18									
19									
20									
#+	一部事務組合等				5,154		2,261	124	

公債	貴負担の状況(千円・%)	将来負担の状況	<b>将来負担の状況(千円・%)</b>				
	実質公債費比率 (	千円・%)					
	区分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	分母比		区分
元利	貫還金	943,593	854,324	754,849	27.0	将来負担額	一般会計等に係る地方債の現在高
	満期一括償還地方側に係る年度割相当額	-	-	-			債務負担行為に基づく支出予定額
準元	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	251,153	243,454	234,786	8.4		公営企業債等繰入見込額
利償	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	28,300	16,677	13,323	0.5		組合等負担等見込額
還	債務負担行為に基づく支出額(公債費に進ずるもの)	65 360	56 268	52 903	1.9		退職手当負担見込額

金	債務負担行為に基づく支出額(公債費に準ずるもの)		65,360	56,268	52,903	1.9		退職手当負担見込額
	一時借入金の利子		-	-	-	-		設立法人等の負債額等負担見込額
	合計	(ア)	1,288,406	1,170,723	1,055,861			連結実質赤字額
	内訳		平成20年度	平成21年度	平成22年度	分母比		組合等連結実質赤字額負担見込額
	PFI事業に係るもの		-	-	-	-		合計
	いわゆる五省協定等に係るもの		-	-	-	-	充当可能財源等	充当可能基金
	国営土地改良事業・森林総合研究所等が行う事業に係るもの		-	-	-	-		充当可能特定歲入
債務	地方公務員等共済組合に係るもの		3,523	-	-	-		基準財政需要額算入見込額
負担	社会福祉法人の施設建設費に係るもの		-	-	-	-		合計
行為	損失補償・債務保証の履行に係るもの		-	-	-	-	将来負担比率((コ	E) - (オ)) / ((イ) - (ウ)) × 1 0 0
	引き受けた債務の履行に係るもの		-	-	-	-		
	その他上記に準ずるもの		61,837	56,268	52,903	1.9		
	利子補給に係るもの		-	-	-	-		
標準則	<b>才政規模</b>	(イ)	3,229,090	3,304,553	3,453,636			
算入名	公債費等の額	(ウ)	790,424	716,298	655,330			
分母		(イ)・(ウ)	2,438,666	2,588,255	2,798,306			
1 _		/ Wi der mir \	00.4	40.5	40.4			

健全化判断比率 平成22年度(再掲) 早期健全化基準 財政再生基準

実質赤字比率 連結実質赤字比率 将来負担比率

平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、	満期一括償還地方債に係る年度割相当額は積立不足額を考慮して算定した額を含んでいる。
実質公債費比率の((ア) - (ウ))は特定財源の額を控除している	

退職手当負担見込額 設立法人等の負債額等負担見込額

15.00	20.00	実質公債費
20.00	35.00	

							平	成22年度	長野栗筑北村		
地方	公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の! 地方公社・第三セクター等名	対政的支援の状況 経常損益	(単位:百万円) 純資産又は 正味財産	当該団体からの出資金	当該団体からの補助金	当該団体からの貸付金	当該団体からの 債務保証に係る	当該団体からの 損失補償に係る 債務残高	一般会計等 負担見込額	備考	
1	(財) 筑北村開発公社	0	44	30	-	-	價務%局	價務残局	-		
2											
3											
5											
6											
7											
8										<u> </u>	
10											
11											
12											
14										ļ	
15											
16											
17											
19											
20											
21											
22										· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
24											
25											
26 27										ļ	
28											
29											
30											
31											
32											
34											
35											
36 37										<b> </b>	
38											
39											
40											
41										ļ	
43											
44											
45											
46 47											
48											
49											
50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69											
51											
53											
54											
55											
56										ļ	
58											
59											
60											
61											
63											
64											
65											
66											
68											
60										ſ	

5,558,376

278,770

2,708,697

142,063

928,142

9,616,048

1,345,739

201,633

6,022,937

7,570,309

5,179,232

222,502

2,545,028

136,833

839,682

1,687,112

160,181

5,672,307

7,519,600

4,940,514

169,599

124,305

832,860

2,059,101

136,845

5,728,954

7,924,900

2,498,516

将来負担比率 (千円・%) 平成20年度 平成21年度 平成22年度 分母比

平成20年度 平成21年度 平成22年度 分母比 PFI事業に係るもの いわゆる五省協定等に係るもの 国営土地改良事業に係るもの 89.3 依頼土地の買い戻しに係るもの 社会福祉法人の施設建設費に係るもの

引き受けた債務の履行に係るもの その他上記に準ずるもの 278,770 222,502 4.9 筑北村集落排水事業特別会計 1,336,948 1,233,508 1,205,467 筑北村簡易水道事業特別会計 955,636 1,067,907 976,371 294,107 332,690 筑北村宅地造成事業特別会計 8,314 4,015 その他の会計 地方道路公社に係る将来負担額

43.1

11.9

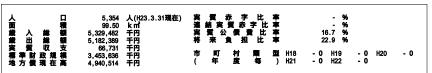
土地開発公社に係る将来負担額

(才)

# (3)市町村財政比較分析表(普通会計決算)

### 平成22年度

### 長野県筑北村



当該団体値 ◆ 類似団体内平均値 ▼ 類似団体内の 最大値及び最小化

市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。

類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。

「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 財政力 財政力指数 [0.19] 1.43 1.50 1.20 0.90 0.60 0.30 0.0 0.18 0.12

#### 類似团体内膜位 全国平均 摄影桌平均 72/118 0.53 042

#### 財政力指数の分析機

過疎化による人口の減少及び高齢化(平成22年度末36.45%)に加え、中心となる産業が ないこと等により税収等の自主財源が乏しいことから、類似団体平均を下回る状況が続い

定員適正化計画に基づき適正な定員管理に努めるとともに、集中改革プランに基づ〈事



### 将来負担比率 3.3 100.0 200. 216.5 300.0 H18 H20 H22 H19 H21

将来負担の状況

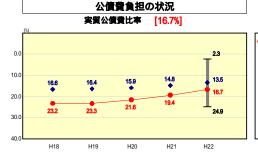
#### 類似団体内膜位 51/118 79.7

長野県平均

#### #来會相比率の分析#

民間資金の地方債繰上償還による地方債現在高の減や、財政調整基金及び減債基金 の積立による充当可能基金の増、普通交付税の増額に伴う標準財政規模の増などによ り、類似団体平均を下回っている。

今後も公債費等の削減により将来負担の軽減を図り、財政の健全化に努める。



#### 類似団体内層位 全国平均 長野県平均 102/118 11.8

#### 8度公債費比率の分析機

合併前の旧村で借り入れた地方債のビークがこれまで続いていたことが要因で高い数 値を推移しているが、補償金免除繰上償還や任意の繰上償還を実施してきた結果、年々 減少傾向にあり 単年度では13.4%となっている

今後も財政状況を考慮しながら、可能な範囲で繰上償還を実施することや、投資事業の 選択と集中を行うことにより、新規発行の抑制に努める。



### 18/118

#### 経常収支比率の分析欄

合併前の旧村時に発行した地方債の償還ピークが過ぎたこと、民間資金の繰上償還に よる地方債現在高の減少により公債費が減少したことや定員適正化計画に基立 (3職者 不補充・新採用者和制の取り組みを行った結果、人件費が減少したことにより経常経費 が減少した。加えて、普通交付税及び臨時財政対策債などの経常一般財源が増加したこ とにより、類似団体平均を下回ることとなった。

自主財源が少なく交付税等の依存財源が大きい当村では、交付税等の増減により数値 が左右されることも多く、経常経費でも公債費が減少傾向にあるとはいえ、大きな部分を 占めている状況にあることから、引き続き地方債発行の抑制などの経常経費節減に努め



92/118 7.86 人口千人当たり職員数の分析機

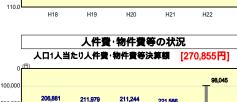
全国市平均

類似団体平均を上回っているのは、合併に伴い旧村の職員133人がそのまま引き継が れていることが主要因となっている。

長野県平均

95.3

第1次定員適正化計画で目標とした。平成22年度当初職員数121人に対して実数は115 人で目標達成率は105.2%となっており、採用抑制を実施した結果、計画値を上回ってい る。また、合併後、5年が経過する中で、新たな行政改革集中改革プランの策定に併せ、 最小の職員数で最大の行政効果をあげることができるよう、平成23年1月に第2次定員適 正化計画の策定を行い、これを着実に実行して定員規模の適正化を図る。第2次計画で は、平成23年度計画数値112人に対して、平成23年4月1日現在111人となっており、平成 32年度には78人を目標としている。





87/118

合併に伴う職員、施設等をそのまま引き継いできていることが、人件費・物件費・維持補 修費が類似団体平均を上回る主要因となっている。

全国平均

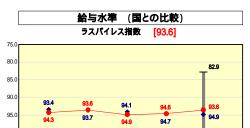
114.985

人件費は、定員適正化計画に基づく新規採用の抑制等により減少してきているが、物件 費(前年度比4.9%増)、維持補修費(前年度比8.4%増)の伸びが大きく、特に物件費の賃 金や情報通信、電算関係の委託費が増加している。

長野県平均

124,369

引き続き定員適正化計画に沿った新規採用の抑制等を図り、集中改革プランの着実な 実践によるコスト削減に努める。



H20

H21

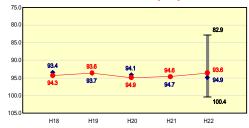
H22

#### 35/118 ラスパイレス指数の分析権

実施済の給与抑制や退職、経験年数階層の変動等により類似団体平均を下回ってい

勤務評定制度等を通じ、引き続き抑制に努める。





25.00

30.00

H18

H19

# (4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成22年度

### 長野県筑北村

長野県平均

長野県平均

135

12.2

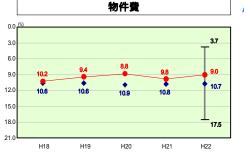
11.5

## 経常収支比率の分析

5,354 人(H23.3.31現在) 実 99.50 k m |歳歳実 入 総 出 総 質 収 5.329.482 16.7 % 5.182.389 书刊 22.9 66.731 - 0 H19 H20 千円 3.453.636 ) H21 - 0 H22 - 0 4,940,514 千円

当該団体値 ◆ 類似団体内平均値 類似団体内の 最大値及び最小値

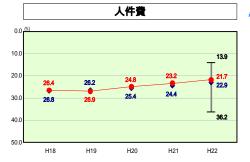
市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



類似团体内膜位 全国平均 128 32/118

類似団体平均を下回っているが、普通交付税等の増額により経常一般財源 が増えたことによる要因が大きく、人口1人当たりの支出額は類似団体を上 回っている。

今後は、施設等の整理統合を通じ、経費の削減に努める。



#### 全国平均 類似団体内膜位 長野県平均 25.1 47/118 207

### 人件費の分析機

定員適正化計画に基づき職員数の抑制を図ってきた結果、人件費は減少傾 向にあるが、普通交付税等の増加による経常一般財源が増えたことも類似団 体平均を下回る要因となっている。

今後も定員適正化計画に沿って人件費の削減に努める。



## 補助責等の分析機

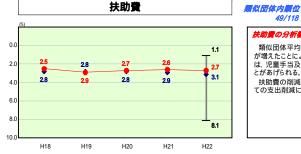
類似団体平均を大きく下回っているのは、団体の統合、事業の見直し等によ り削減を図ってきていることが要因している。

今後も補助金交付団体の活動状況。資金の収支状況。補助金の使途、効果 等を検証し、支援のあり方を見直していく。

全国平均

11.8

全国平均



## 扶助費の分析欄

49/118

類似団体平均を下回っているが、普通交付税等の増額により経常一般財源 が増えたことによるもので、扶助費の支出額は前年度より増えている。これ は、児童手当及び子ども手当や要援護者に対する扶助費が増加傾向にあるこ

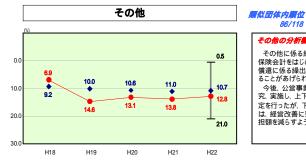
長野県平均

6.3

全国平均

10.4

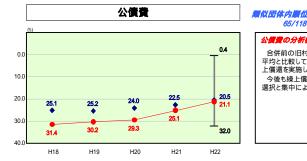
扶助費の削減は難しい状況にあることから、他の経費の削減により全体とし ての支出削減に努める。



### その他の分析欄

その他に係る経常収支比率が類似団体平均を上回っているのは、国民健康 保険会計をはじめとする公営事業への繰出金、上下水道会計への公営企業債 償還に係る繰出金及び温泉施設会計への運営経費に係る繰出金が多額であ

今後、公営事業会計は、医療費、介護給付費等の伸びを抑制する施策を研 究、実施し、上下水道会計は、簡易水道事業において平成23年1月から料金改 定を行ったが、下水道事業も含め適正な使用料となるよう努め、温泉施設会計 は、経営改善に努める一方、民間への指定管理委託を検討し、一般会計の負 担額を減らすよう努める。



### 公債費の分析機

合併前の旧村時に借り入れた地方債のピークが続いたことにより、類似団体 平均と比較して高い状況で推移してきたが、補償金免除繰上償還や任意の繰 上償還を実施してきた結果、類似団体と同水準程度に下がってきている。 今後も繰上償還の実施により公債費負担の軽減を図るとともに、投資事業の

全国平均

選択と集中による地方債の発行抑制に努める。



#### 公債費以外の分析機

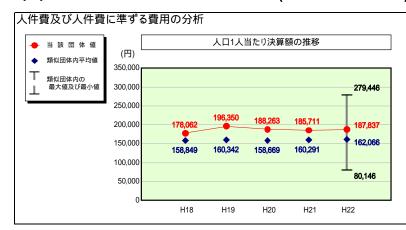
類似団体内順位

類似団体平均を下回っているのは、定員適正化計画に基づく新規採用の抑 制等により人件費が減少していること、平成21年度に臨時交付金を活用し物品 等の購入を集中して行ったことにより物件費が減少したことなどが主要因となっ

全国平均

今後、社会保障経費の増加、事業の選択、税収、交付税等の状況いかんに よっては、一転悪化することも考えられるため、この数値を維持または、さらに 改善できるよう、定員適正化計画に沿った職員の採用抑制、事業執行にあたっ ての事業効果・必要性等の検討・精査、集中改革プランに沿った事務事業の一 層の効率化に努めることにより、引き続き健全な財政運営に取り組む。

# (4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)



#### 人件費及び人件費に準ずる費用 大口1人当たり決算額 当該団体(円) 類似団体平均(円) 対比(%) 当該団体決算額 (千円) 人件費 807,305 150,785 132,559 13.7 117,060 21,864 12,734 71.7 99,431 18,571 21,564 13.9 2,902 26,606 4.969 5,693 12.7 事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費) 12.6 18,484 3,452 3,066 退職金 63,209 11,806 16,453 28.2 合計 1.005.677 187.837 162.066 15.9

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	18.12	14.53	3.59
ラスパイレス指数	93.6	94.9	1.3

#### 公債費及び公債費に準ずる費用の分析 人口1人当たり決算額の推移 当該団体値 (円) ◆ 類似団体内平均値 150,000 類似団体内の 最大値及び最小値 120,000 106,410 90,000 69,914 60,000 51,062 58,549 56,154 52,994 30,000 4,052 H18 H19 H20 H21 H22

公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)			人口1人当たり決算額	
	当該団体決算額			
	(千円)	当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	754,849	140,988	112,817	25.0
債立不足額を考慮して算定した額	-	-		-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	376	-
公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	234,786	43,852	23,358	87.7
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負 担金に充当する一般財源等額	13,323	2,488	6,948	64.2
責務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する 一般財源等額	52,903	9,881	3,718	165.8
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	42	-
特定財源の額	26,210	4,895	5,418	9.7
地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	655,330	122,400	90,780	34.8
合計	374,321	69,914		36.9
平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基	づく実質公債費比	率を算出していな	い団体については、	グラフを表記しな

(参考) 普通建設事業費の	分析				
(円)		人口1人	当たり決算額	の推移	
300,000					
250,000					
200,000					•
150,000	•				
100,000		•			
50,000	•				
0					
	H18	H19	H20	H21	H22
	── 当該	団体値	•	類似団体内平	P均值

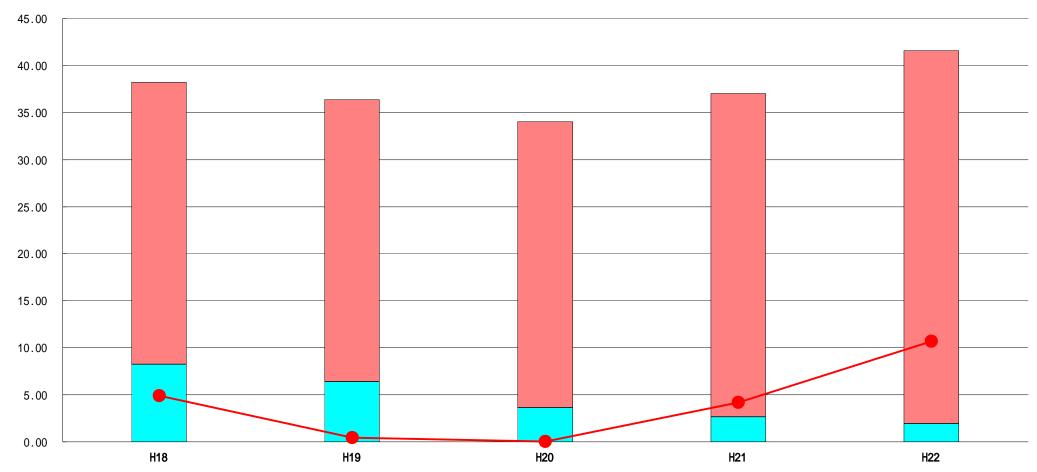
普通建設事業費		当該団体決算額		人口 1 人当たり決算額					
		(千円)	当該団体(円)	増減率(%)(A)	類似団体平均(円)	増減率(%)(B)	(A)-(B)		
H18		422,133	73,021	31.9	124,895	2.9	29.0		
	うち単独分	290,358	50,226	35.2	61,345	4.1	31.1		
H19		909,453	160,482	119.8	110,324	11.7	131.5		
	うち単独分	299,247	52,805	5.1	55,684	9.2	14.3		
H20		875,842	158,266	1.4	114,677	3.9	5.3		
	うち単独分	241,141	43,574	17.5	55,912	0.4	17.9		
H21		955,274	175,055	10.6	174,443	52.1	41.5		
	うち単独分	549,368	100,672	131.0	89,518	60.1	70.9		
H22		839,714	156,839	10.4	192,544	10.4	20.8		
	うち単独分	341,366	63,759	36.7	82,235	8.1	28.6		
過去 5 年間平均		800,483	144,733	30.1	143,377	11.5	18.6		
	うち単独分	344,296	62,207	23.4	68,939	9.5	13.9		

# (5)実質収支比率等に係る経年分析(市町村)

平成22年度

長野県筑北村

## 標準財政規模比(%)



## 標準財政規模比(%)

区分	H18	H19	H20	H21	H22
財政調整基金残高	29.98	30.00	30.39	34.40	39.68
実質収支額	8.25	6.39	3.64	2.64	1.93
実質単年度収支	4.91	0.45	0.04	4.19	10.68

### 分析欄

実質収支比率が減少しているのは、決算見込額を的確に把握するよう努め、なるべく次年度への繰越金を出さず、財政調整基金や減債基金へ積み立てる財政運営を実施しているためである。

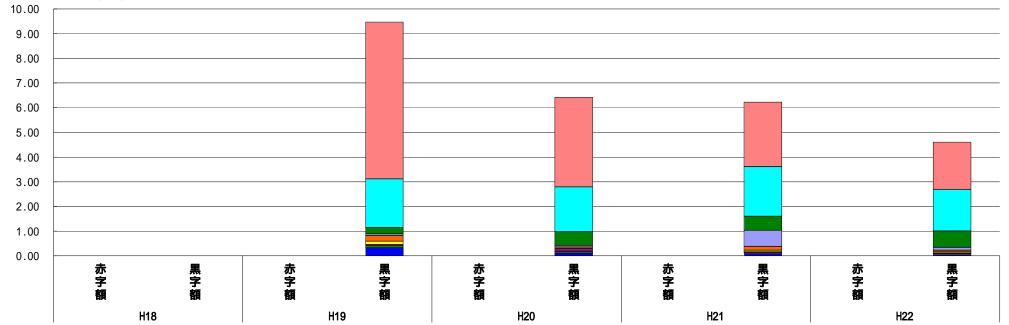
を実施しているためである。 また、普通交付税及び臨時財政対策債の増により標準財政規模が大き〈なっていることも要因している。

# (6)連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析(市町村)

平成22年度

長野県筑北村

## 標準財政規模比(%)



### 標準財政規模比(%)

年度 会計	H18	H19	H20	H21	H22
一般会計		6.36	3.63	2.63	1.92
筑北村国民健康保険特別会計	-	1.97	1.82	2.01	1.69
筑北村介護保険特別会計		0.26	0.56	0.57	0.66
筑北村簡易水道事業特別会計		0.06	0.06	0.65	0.12
筑北村冠着温泉施設特別会計	-	0.24	0.06	0.15	0.06
筑北村国民健康保険診療所特別会計		0.13	0.02	0.06	0.05
筑北村差切峡温泉施設特別会計		0.06	0.12	0.05	0.04
筑北村集落排水事業特別会計	-	0.06	0.05	0.02	0.02
その他会計(赤字)	-	-	-	-	-
その他会計(黒字)	-	0.33	0.10	0.09	0.05

### 分析欄

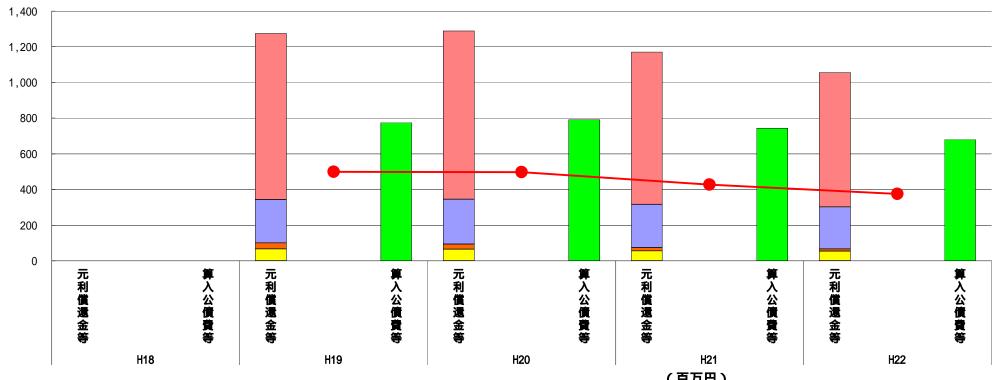
全会計において、黒字となっている。一般会計で実質収支比率が減少しているの は、決算見込額を的確に把握するよう努め、なるべく次年度への繰越金を出さず、財 政調整基金や減債基金へ積み立てる財政運営を実施しているためである。

# (7) 実質公債費比率 (分子)の構造(市町村)

平成22年度

長野県筑北村

## (百万円)



分子の構造	年度	H18	H19	H20	H21	H22
	元利償還金	-	931	944	854	755
	積立不足額考慮算定額	-	-	1	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-		-	-
元利償還金等(A)	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	-	243	251	243	235
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	-	34	28	17	13
	債務負担行為に基づく支出額	-	66	65	56	53
	一時借入金利子	-	-	-	-	-
算入公債費等(B)	算入公債費等	-	775	791	743	681
(A) - (B)	━━ 実質公債費比率の分子	-	499	497	427	375

### 分析欄

特に元利償還金が年々減少している。これは、合併前の旧村で借り入れた地方債のピークを過ぎたこと、補償金免除繰上償還や任意の民間資金繰上償還を実施していることが要因している。

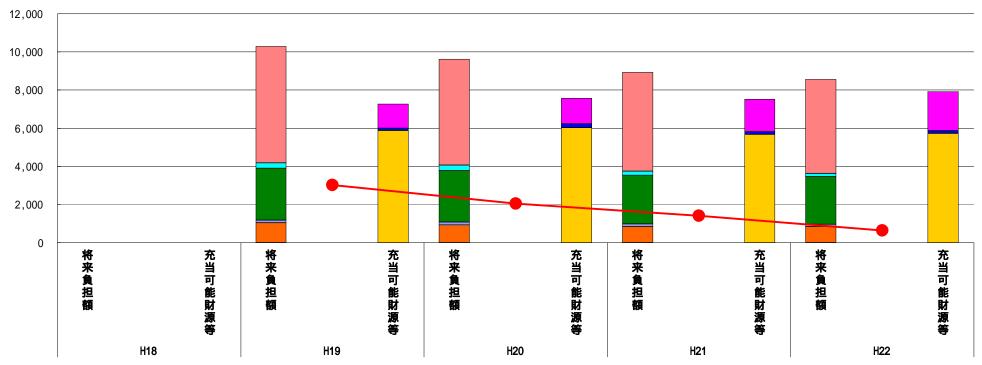
平成19年度決算と平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は積立不足額を考慮して算定した額を含んでいる。 平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

# (8) 将来負担比率 (分子) の構造 (市町村)

平成22年度

長野県筑北村

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H18	H19	H20	H21	H22
	一般会計等に係る地方債の	)現在高	-	6,106	5,558	5,179	4,941
	債務負担行為に基づく支出	<b>予定額</b>	-	296	279	223	170
	公営企業債等繰入見込額		=	2,704	2,709	2,545	2,499
将来負担額(A)	組合等負担等見込額		-	143	142	137	124
付不負担領(A)	退職手当負担見込額		-	1,040	928	840	833
	設立法人等の負債額等負担	見込額	=	=	-		•
	連結実質赤字額		-	-	-	ı	1
	組合等連結実質赤字額負担	見込額	-				
	充当可能基金		-	1,263	1,346	1,687	2,059
充当可能財源等(B)	充当可能特定歳入		-	127	202	160	137
	基準財政需要額算入見込額	1	-	5,871	6,023	5,672	5,729
(A) - (B)	── 将来負担比率の分子		-	3,028	2,046	1,404	641

## 分析欄

将来負担額は、合併前の旧村で借り入れた地方債のビークを過ぎたこと、補償金免除繰上償還や任意の民間資金繰上償還を実施したことにより地方債現在高が減少傾向にある。また、定員適正化計画に基づく職員数の抑制により退職手当負担見込額が抑えられている。

充当可能財源等は、財政調整基金や減債基金の計画的な積立てにより充当可能基金が増えている。

平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。